

今冬の感染拡大に向けた対策について

1 医療提供体制・検査体制の確保

【千葉市の取り組み】

(1) 保健所の体制強化

第7波の最大規模の約200人まで順次体制強化中
年末年始においても、健康観察センターなどを含め、通常対応

(2) パルスオキシメーターの拡充

希望する市民に貸出しをしているパルスオキシメーターを追加購入済
15,000台体制 ⇒ 18,000台体制 (3,000台増)

(3) 抗原検査キット購入費用助成事業

市民が薬局で抗原検査キットを購入する際の費用を助成

(4) 高齢者施設等の従事者に対する検査体制の充実

厚生労働省配付の抗原検査キットによる高齢施設従事者等への頻回検査の拡大
11月：月2回 ⇒ 12月：月8回

高齢施設等新規入所者に対するPCR検査費用の助成による検査促進

(5) 65歳以上向け無料PCR検査事業

65歳以上の有症状者が、年末年始も含めご自宅で無料のPCR検査ができる事業
の実施に向け調整中

【県と三市共同の取り組み】

(6) 抗原検査キット配付事業の再開

千葉県と船橋市・柏市三市共同で行っていた、重症化リスクの低い軽症者（65歳未満）を対象に抗原検査キットの無料配付を再開（12月5日から）

(7) 千葉県陽性者登録センターの受付体制の拡充

千葉県と船橋市・柏市三市共同で実施している、陽性者登録センターの受付体制を拡充（12月1日から順次拡充）

医療機関受診者向け 10,000件/日 ⇒ 15,000件/日

自己検査者向け 5,000件/日 ⇒ 20,000件/日

【千葉県の取り組み】

(8) 千葉県オンライン診療センター

発熱者のうち、自己検査で新型コロナ陰性となった方が受診できるオンライン診療
を12月5日から開始

(9) 病床の確保

県内全圏域について、11月22日からフェーズ2 Aからフェーズ2 Bに引き上げ

【確保病床数】1,370床 ⇒ 1,676床

(千葉医療圏のみの数字は非公表)

2 ワクチン接種の促進

(1) オミクロン株対応ワクチンの接種状況

- ・11月27日時点で、約19万6千人（接種率：20.2%）の方が接種を完了
- ・全国（接種率：17.1%）を上回るペースで接種が進んでいる。

(2) 接種促進に向けた本市の取組み

ア 実施体制の強化

- ・11月から新たな集団接種会場（センシティタワー）の開設（市内計7か所）
※新たに通勤・通学者を呼び込むため、千葉駅周辺へ接種会場を新設
- ・小児・乳幼児に対する集団接種の実施（会場：中央コミュニティセンター、実施日：土曜日）
※小児・乳幼児に対する接種機会の確保
- ・コールセンターの体制強化（10月から150回線 ⇒ 200回線）

イ 様々な媒体を活用した周知

- ・接種勧奨の個別通知（第一弾）を送付済
11月8日から16日にかけて発送済。第二弾も順次発送予定
【対象者】オミクロン株対応ワクチンの未接種者 約43万人
- ・ワクチンの安全性や有効性などを周知するため市政だよりや週報を活用
- ・SNS（Twitter、LINE など）を活用した情報発信の頻度を増加